

平成29年度 ワカメ養殖情報第7号 (平成30年3月23日)

- 5℃以下の水温帯は、本県沖10～70海里(19～130km)を南下しており、その南端は樺島沖20～70海里(37～130km)にあります(図1)。
- 3月22日の定地水温は、野田湾で6.7℃(過去平均差+0.2℃)、船越湾で6.0℃(過去平均差-0.1℃)、広田湾で8.4℃(過去平均差+2.4℃)でした(図2)。
- 本県沖合における栄養塩の表面分布は尾崎定線以北で前年同時期よりも高い値ですが(図3)、3月20日における県南部湾内定地点の栄養塩は例年よりも若干低い値となっています。
- 3月20日の県央地区における葉長の測定結果は218cmでした(図4)。
- 栄養塩や水温の動き、病虫害の発生に注意し養成管理と収穫を進めてください。

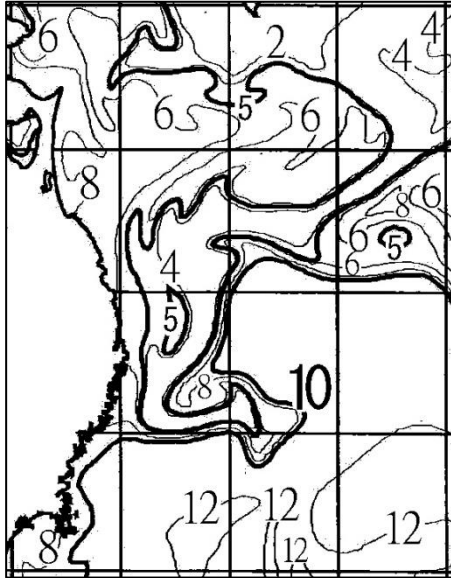


図1 本県沖合における水温の表面分布(3/18～19)

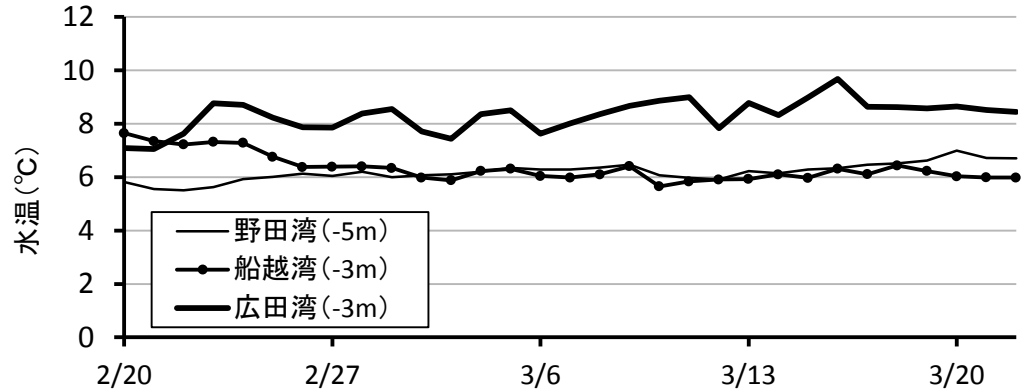


図2 野田湾、船越湾、広田湾における水温(午前10時)の推移(直近1ヶ月)

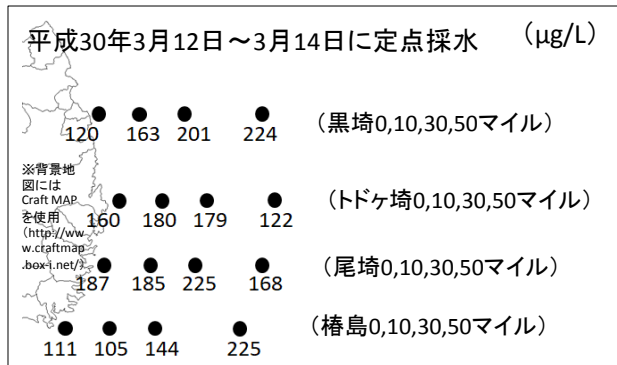


図3 本県沖合における栄養塩の表面分布

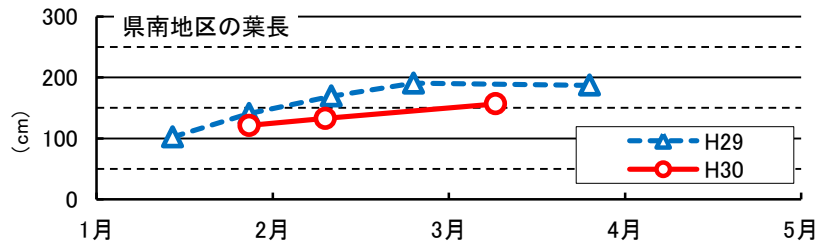
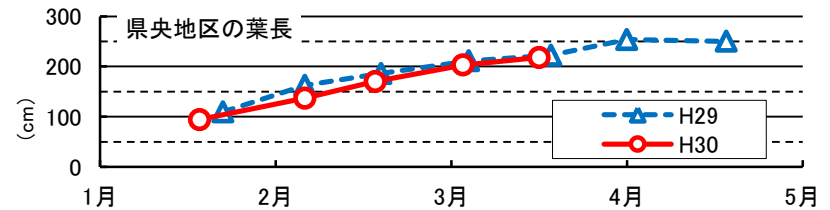


図4 本県養殖施設におけるワカメ葉長の推移

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発、沖合栄養塩の分析は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。

※当情報は水産技術センターホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>